

＜＜説明会における質疑応答及びご意見＞＞

【質疑応答】

質 問	回 答
この地区は過去に何度も浸水被害が発生している。産業団地の開発によって浸水被害が悪化しないか心配である。	この開発に伴って、現状より貯留機能が悪化することはない。条例に則った貯水容量の確保に加え、増水時に区域外の水を調整池に流入できる構造にする。それ以外にも、富士見市の要望により、公園貯留を加えるので現状よりも貯留機能が改善される。
シティーゾーンの開発は富士見市だけではなく県も参画すべき。	シティーゾーン開発は、富士見市の施策であり、県がシティーゾーン開発全体に関わることはできない。
調整池の変更概要を教えて欲しい。	調整池の構造を広く浅いものに見直しを行った。貯水容量に変更はなく、南側が約55,000m ³ 、北側が約10,000m ³ 、公園貯留は約3,600m ³ となっている。
公園はもっと市民の意見を取り入れるべき。	引き続き、富士見市と協議を行っていく。
ボール遊び場のボール飛び出し対策を教えて欲しい。	高さのあるフェンスを設置予定である。
開発後のトラックの待機駐車対策をすべき。	分譲企業への指導を徹底する。
希少動物への影響はないのか？	平成31年度に環境影響調査を行っており、生体系への影響は少ないと考えている。
産業団地はどのような企業が来るのか？公園は住民も使えるのか？	どのような企業が立地するかは、まだ決まっていない。公園は、どなたでも利用できる。
交差点に矢印信号はつくのか？	県警に要望は行っているが、今後の協議次第である。